

今回は以前ご紹介した、中国リハビリ事情の第2弾をご紹介します。現在、中国でリハビリを実施するには、2通りが大別することができま

まず1つ目は保険按摩師業務についてです。保険按摩師は一般社会的職業と言われており、中国

人力資源と社会保障部の管轄になります。業務内容は主に按摩を実施するのですが、評価は行えま

対象者は若年層から高齢者まで幅広く、職場は主に按摩店や養老院、レジャー施設など、大半が私営施設になります。資格要件は、学歴要求はな

く、研修を受講し、修了証書をもらうだけで運営も容易に行えます。そして2つ目はリハビリ師業務です。病院と同じ衛生部の管轄となり、医療的職業になります。実務を行うには医療許可が必要で、運営にかかるハードルも高くなります。業務内容は主に運動療法や漢方、各種物理的因子（電気、光、電磁波など）の使用、筋力や関節運動機能評価などの実施です。

こちらも対象者は幅広く、職場は主に病院や医療併設型介護施設などとなり、政府委託運営が主になります。資格要件は大学などで医学の専門知

西洋医学と中医学の融合に期待

識を学び、試験に合格することです。

これら双方を見比べた時、前者はリハビリに特化した部分はありませんが、

軽度者中心で按摩を主としたリラクセス効果を求める

方の需要が多く、対して後者は術後や退院後など

の中度者以上への需要が主になります。

今回記事を書く前に、市内介護施設や病院などを数件内覧し、一番感じたことは、漢方や中医学への信頼が非常に高いがため、リハビリに関する西洋医学がほぼ導入されていないことでした。

ゲストハウス総経理 稲田義人



中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。

しかし、中には身体内
部治療を特徴とする漢方
や中医学だけではなく、
運動機能の維持改善を特
徴とする西洋医学の理学
療法との融合によって、
真の健康と自立を目指す
先進的な施設や病院もあ
り、少しずつ進化してい
く中国リハビリ業界に今
後も注目していきたいと
思います。